

第4学年国語科学習指導案【改善版】

日時 平成25年10月31日(木) 4校時
児童 男子8名 女子11名 計19名
指導者 外館 幸仁

- 1 単元名 種小のみんなにリーフレットで紹介しよう ～新美南吉ワールド～
2 教材名 「ごんぎつね」 新美 南吉 (光村図書 四年下)
3 単元の指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

・新美南吉作品に興味を持ち、自分の考えを伝えようとしたり、友達と交流したりしようとする。

【読む能力】

・登場人物の性格や気持ちの変化を、場面の移り変わりや情景などの叙述を基に想像して読むことができる。
(Cウ)

・新美南吉作品を読みリーフレットを書くために必要な文章を引用したり要約したりすることができる。
(Cエ)

【言語についての知識・理解・技能】

・表現したり理解したりするために必要な語句について、辞典を利用して調べる方法を理解し、調べることができる。〔イ(カ)〕

4 単元を貫く言語活動の特徴

本単元を貫く言語活動として「リーフレットを書き種小のみんなに新見南吉作品を紹介する」ことを位置付けた。リーフレットには、「あらすじ」「登場人物関係図」「感動した場面」について書く。「あらすじ」と「登場人物関係図」を書くことで、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の気持ちの変化を、叙述に即して読み取ること(Cウ)を実現できるようにしている。「感動した場面」では、どの場面が感動をしたのかを伝えるために文章を引用したり要約したりすること〔Cエ〕が実現できるようにしている。

5 単元について

(1) 児童について

児童は、「読むこと」の学習として、第3学年において「モチモチの木」を通して、人物に注目しながら物語を読む学習を行った。4年生の「一つの花」では、場面の移り変わりに着目させながら中心人物であるお父さんの気持ちについて考える学習を行った。ノートに中心人物の気持ちを書くことで考えがまとまり、積極的に自分の考えを発言していくことができた。これらの学習を通して、児童は、中心人物の気持ちについて関心を持ちながら物語を読む力を身につけている。

しかし、情景や視点の転換などから人物の心情をとらえることは、この単元で初めて学習する。そこで、情景を抜き出したり、視点を確認したりすることを通して登場人物の気持ちを想像させたい。

また、昨年度の標準学力検査の結果から、「登場人物の気持ちを読み取る」と「文章のあらすじを要約する」ことが全国平均を下回っていた。これらは、【解釈】を問う問題であった。この単元でも以上のことと関わらせながらさらなる定着を図りたい。

(2) 単元構成と指導にあたって

本単元は、登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わり、情景や視点の転換を中心として想像させることを目的としている。そこで、「ごんぎつね」で情景や視点の転換について学習し、学習したことをリーフレットにまとめる。その後、新美南吉作品の中から気に入ったものを選び自分で学習したことを生かしてリーフレットを作成する。

リーフレットには、「あらすじ」「登場人物関係図」「感動した場面」を書く。「感動した場面」については、中心人物の気持ちが変わった場面、それについての解釈、さらに自分の考えを書くようにさせたい。

「ごんぎつね」は、ひとりぼっちの小ぎつね「ごん」が、自分と同じ一人ぼっちの兵十と心を通わせようと努力しながらも、通わせきれない切なさを書いた物語である。「ごん」の気持ちを表すのに、場面の移り変わりや情景、視点の転換を巧みに用いている作品であるため学習の目的を達成するのに適した教材である。

第一次では、作家新美南吉について触れ、作家としての人柄やどんな作品があるのか興味を持ち学習の見通しと意欲付けを図りたい。今後の学習で新美南吉作品について学習することをおさえ学習計画を立てる。その後平行読書を始め、リーフレットにまとめた本を一冊選ぶ。

第二次では、「ごんぎつね」を全員でリーフレットにまとめる。「あらすじ」「登場人物関係図」【情報の取り出し・解釈】「感動した場面」【熟考・評価】の順番で書かせることで単元のねらいに迫る。「感動した場面」については、個々の感じ方に違いがあるが第三次の学習に活用できるように同じ場面で学習を進めていきたい。

第三次では、今まで学習してきたことを活用することを目的としている。第二次での学習を想起しながらリーフレットにまとめる。その後、図書室で全校児童に紹介する。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・新美南吉の作品に興味を持ち、進んで読もうとしている。	・登場人物の性格や気持ちの変化を、教科書の行動・情景や視点の転換などをもとに想像して読んでいる。[Cウ] ・リーフレットを書くために、あらすじを要約したり、大切なところを引用したりしながら自分の考えを書いている。[Cエ]	・分からない言葉や漢字を目的に応じて辞典を使って調べて活用している。[イ(カ)]

7 単元計画 (全16時間)

次	時	主な学習活動	指導の手立て	評価
一次	1	・新美南吉作品について触れ、リーフレットで全校のみんなに紹介する学習であることを知る。	・新美南吉の人生や人柄についてふれ、作品にも興味を持たせる。 ・教師自作のリーフレットを作成し学習のゴールを示す。	関 新美南吉の作品に関心を持とうとしている。
	2	・リーフレットを書いて紹介するための、学習計画を立てる。	・全校に紹介するまでにどんな学習が必要かを考え学習計画を立てる。	関 学習のゴールをイメージし、学習計画を立てることができる。
種小のみんなにリーフレットで紹介しよう ～新美南吉ワールド～				
二	3	・「ごんぎつね」を読み、初発の感想を書き、交流する。 【情報の取り出し】	・リーフレットのゴールになる感想を書かせ、自分がどれぐらい読み取れているかを感じさせ、学習後の変容をみる。	読 「ごん」の気持ちの変化について初発の感想を書き、今の自分の力を知る。
	4 ・ 5	・「ごんぎつね」のあらすじを考え、リーフレットに書く。 【情報の取り出し】	・各場面を短くまとめそれを、つなぎ合わせることであらすじを考えさせる。	読 1～6までの場面を短い文でまとめあらすじを書いている。
	6 ・ 7 本時	・登場人物関係図を考え、リーフレットに書く。 【情報の取り出し・解釈】	・それぞれの登場人物がどんな役割をしているかを考えさせたり、それぞれの性格について短い言葉でまとめたりする。	読 登場人物を見つけそれぞれの性格や物語での役割を短い言葉で書いている。
	8	・感動した場面を書く。 【熟考・評価】	・クライマックスの場面を感動した場面ととらえ、本時では6の場面について感想を書く。	読 「ごん」の気持ちの変化とそれについての自分の考えを書いている。
	9	・「ごんぎつね」のリーフレットを完成させる。 【表現】	・相手が見やすいように工夫して書いている。	関 相手意識を持って作成している。
三	10 11	・紹介したい本のあらすじを書く。 【情報の取り出し】	・同じ本を選んだものどうしでグループを作り、場面ごとの短い文を作りあらすじを完成させる。	読 協力してあらすじを完成させている。
	12 13	・登場人物関係図を書く。 【情報の取り出し・解釈】	・グループで登場人物を見つけ、簡単な性格や物語上の役割を書かせる。	読 協力して登場人物関係図を書いている。
	14	・中心人物の気持ちが大きく変容した場面の感想を書く。 【熟考・評価】	・グループで中心人物の気持ちが大きく変容した部分を確認しその場面の感想を自分で書きまとめさせる。	読 感動した場面の感想を書いている。
	課外 15 16	・グループごとに発表の練習をし、休み時間に図書室で発表する。	・発表する所、発表する順番を決めグループで練習をさせる。 ・発表を聞いている人に伝わるように発表させる。	関 相手意識を持って発表の練習をし、発表している。

8 本時の授業（7 / 16）

(1) 目標

ごんの行動や心内語からごんの人物像を読み取ることができる。

(2) 展開

	主な学習内容と学習活動	指導上の留意点と評価
導入 5分	1 本時の学習の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">「ごん」のプロフィールをまとめよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画で本時の学習内容を確認させる。 「ごん」の性格について短い言葉でまとめていくことを確認し、既習教材を使った見本のリーフレットで本時の完成をイメージさせる。
展開 35分	<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「ごん」の性格がわかる場所を見つけながら、黙読する。【情報の取出し】 ＜手がかり＞ ・話したこと ・思ったこと ・したこと</p> <p>(2) 見つけた「ごん」の性格が分かる場所を、感想をもとにした視点に合わせてノートに書き出す。 ・「ごん」のことでわかったことを書き込みましょう。</p> <p>(3) 書き込んだことを発表する。 ・「ごん」は、どんなきつねだろう。 ○どれが本当の「ごん」だろう。</p> <p>3 課題に対する自分の考えを書きまとめる。 ○「ごん」はどんなきつねなのか、自分の考えたことを書きましょう。【解釈】 ＜書く形式＞ ごんは～きつねだと思います。それは、～だからです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初発の感想をもとに、「さびしいきつね」「いたずらぎつね」「やさしいきつね」「かわいそうなきつね」の視点を意識させながら全体を読ませる。 「ごん」の性格に関わる場所について読んでいけばよいことを確認し、印をつけておくと、まとめやすいことを知らせる。 感想をもとにして提示した「ごん」の性格や特徴の視点に合わせて、「ごん」の生活環境や行動、心内語をノートに書き出させる。 発表を聞いて必要だと思うところなどを、書き加えさせる。 <u>自分が思う「ごん」を書き出してみる。</u> 「さびしいきつね」「いたずらぎつね」「やさしいきつね」「かわいそうなきつね」いずれかひとつだけではなく、それぞれのつながりについても考えさせたい。 「どんなきつね」か「その理由」の二つを、入れるようにさせる。 書き進められる児童は、＜書く形式＞は参考とし、形式にとらわれずに書いてよいことを知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉 「ごん」の行動や心内語から「ごん」の人物像を想像し、自分の言葉で書いている。</p> </div>
終末 5分	<p>4 書いたことを発表し交流しあう。</p> <p>5 本時の学習をふり振り返り、感想を発表する。</p> <p>6 次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えと比べながら聞く。 「ごん」の気持ちのうつりかわりについて考えていくことを確認する。

